

研究室紹介



# 一般財団法人日本環境衛生センター アジア大気汚染研究センター (ACAP)

## ● ACAPの紹介

アジア大気汚染研究センター (ACAP) は、東アジア酸性雨モニタリングネットワーク (EANET) のネットワークセンター及び日本の国内センターとして EANET の中核的役割を果たすべく、環境省の主導のもと、新潟県、新潟市、企業、公益法人等多くの関係団体の支援を頂き、一般財団法人日本環境衛生センターの支局として、1998年4月に新潟市に設立されました。ACAP は、東アジア地域の酸性雨・大気汚染のモニタリングと研究に関する中心的な役割を担い、関係国際機関、各国政府、地方自治体、研究機関等と連携し、調査研究、国際会議の開催、関係者への情報提供、研修の実施等の事業を行っています。現在、職員29名 (うち大気環境学会員15名) で活動しています。



ACAP 外観



ACAP と他機関との連携



ACAP の学会員

## ● ネットワークセンター業務

- ・モニタリングデータの収集、評価、解析、保管、提供
- ・東アジアにおける酸性雨に関する報告書の作成
- ・参加国への技術支援、研修
- ・越境大気汚染・酸性雨長期モニタリング計画・報告書のとりまとめ
- ・測定局の維持管理、現地調査
- ・検討会・国際会議等への参画



EANET 測定局 Map

(湿性・乾性沈着モニタリングサイト)



研修の様子

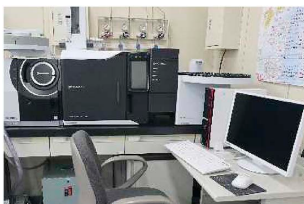
## ● 調査研究

ACAP では近隣のモニタリングサイトで得られたサンプルの分析、国内外のプロジェクトへ参画などの他、以下に示す様々な研究活動を実施しています。

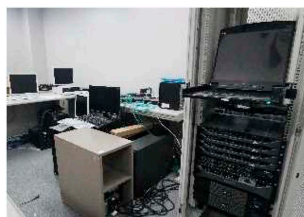
- ・国設新潟巻酸性雨測定所における研究
  - ・アジア域排出インベントリシステムの開発
  - ・長距離輸送に関する国際プロジェクトでのCTMによる研究
  - ・タイとの大気観測、集水域観測の共同研究
  - ・加治川試験地及び伊自良湖モニタリングサイトにおける集水域研究
- これらの研究や EANET に関する業務を実施するため、ACAP には各種分析機器やコンピュータが備わっています。また、国際観測網の黄砂モニタリングネットワーク、AERONET の機器管理を行い、これらの活動に貢献しています。



海外調査の様子



分析装置 (GC-MS)



シミュレーション用計算機



国設新潟巻酸性雨測定所



加治川試験地

ACAP ホームページ: URL: <https://www.acap.asia/> EANET ホームページ: <https://www.eanet.asia/>

**EANET 観測結果のダウンロードサイトが開設されています**

利用登録: <https://monitoring.eanet.asia/document/register/index>

ログインページ: <https://monitoring.eanet.asia/document/signin>

(文責: 桐山)